

令和 7 年度 介護サービス相談員養成研修 フィールドワーク実習について

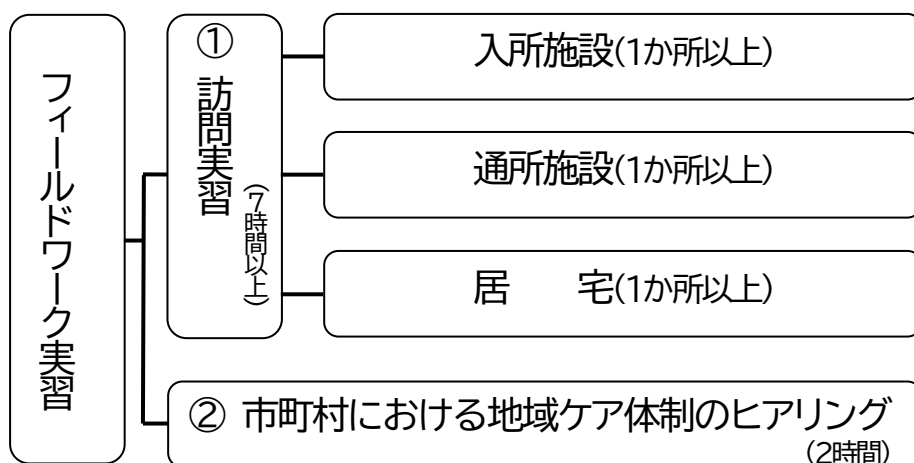
I. 実習の趣旨

- 前期研修(4日間)では、介護サービス相談員の意義と役割の理解をはじめ、介護保険制度や各種サービス等の概要、認知症についての理解、利用者の権利擁護など、介護サービス相談員としての活動に必要な基礎知識と、実際の活動で必要となるコミュニケーション技法や相談記録や報告書作成の基本を学びました。
- 前期研修から後期研修までの間は、フィールドワーク実習期間として、以下を行います。
 - ① 実際の介護サービスが提供されている施設、居宅などでの訪問実習
 - ② 市町村における地域ケア体制についてのヒアリング
- 後期研修では、フィールドワーク実習先での現状や利用者の状況等のレポートを基に、他市町村の受講生とともにグループワークを行い、各自が得た知識と経験を相対化して俯瞰する視点や、介護サービス相談員としての矜持を得ていただくことを目指します。

II. 実習の全体像

- フィールドワーク実習には、
「①訪問実習」と「②市町村における地域ケア体制のヒアリング」の2つの課題があります。
- 「①訪問実習」は、入所施設(1 か所以上)と通所施設(1 か所以上)の、合計2か所以上の訪問を基本としています。
- 居宅訪問を実施している市町村においては、上記に加えて居宅訪問(1か所以上)も行うよう市町村事務局にはお願いしております。
- 「②市町村における地域ケア体制のヒアリング」では、市町村事務局から受講生に対して、介護保険事業計画・高齢者福祉計画及び隣接計画等や、市町村が進める高齢者施策の説明をしていただきます。

フィールドワーク実習の構成



Ⅲ. 実習の概要

①訪問実習

(1)ねらい

☑前期研修で学習した知識や視点を踏まえて、施設等の現状や利用者の状況を観察し、今後、介護サービス相談員としてどのように関わっていくのかを考え、介護サービス相談活動に必要な知識や技能の確認をします。

(2)学習ポイント

- ①施設(訪問先)の現況を知る
- ②施設(訪問先)のサービス内容とその実態を知る
- ③利用者との交流・話し合い、相談の機会をもち、コミュニケーションを経験する

(3)実習内容の概要等

- 上記①と②については、事前に施設の概要を把握したうえで現況を観察します。
- 上記③は、利用者と接することができない場合でも、先輩の介護サービス相談員の活動を観察して学びを得るように心がけます。
- また、個別に話をきく機会がある場合と、多くの人が一緒にいる場でのコミュニケーションも想定されます。
- 介護サービス相談員として実際に活動を進めていくうえでの第一歩となる訪問実習となります。

(4)居宅訪問の場合

- 居宅実習の場合は、サービス事業所や利用者の了解を得たうえで自宅を訪問します。

②市町村における地域ケア体制のヒアリング

(1)ねらい

☑わがまちの介護保険、高齢者福祉関係の計画が、どのような建付けで作られているのかを知り、どのようなまちづくりを進めていこうとしているかを理解する。

(2)学習ポイント

- ①自分の住んでいる市町村の介護保険、高齢福祉の実態に関心をもち、市町村が策定する各種事業計画等を知り、今後どのような地域づくりを進めようとしているかを理解する。
- ②介護保険サービス等の実態や住民への周知等について確認し、介護サービス相談員としてどのように地域づくりに関わっていけばよいのかを考える。

(3)ヒアリング内容の概要等

- 市町村事務局より、わがまちの介護保険事業計画・高齢者福祉計画及び隣接計画等の内容について説明※1を受けます。
- 市町村事務局の説明を受けて、わがまちの介護保険や高齢者福祉の実態(サービスの量、質、特徴、問題点など)についてどのように感じたか、介護サービス相談員としてどのような役割を果たすべきかを、ワークシートにまとめます。

IV. レポートの作成・提出

- フィールドワーク実習の内容を「整理」して、レポート作成を行っていただきます。
- 訪問実習で面談した施設や市町村を評価することが目的ではありません。フィールドワーク実習の経験から、介護サービス相談員としての活動を始めていくにあたり、どのようなことを感じたか、これからどのような活動をしていけばよいかを、実習記録としてまとめていただきます。

整理のポイント

(受入事業所の方、利用者や家族と話したこと、相談・観察した内容を)

①客観的・具体的に整理してまとめる

(市町村における地域ケア体制のヒアリングの説明を)

②介護サービス相談員(利用者・受入事業所・行政の3者の橋渡しを行う者)の視点でまとめる

③介護サービス相談員としての所見・感じたことは、上記①・②と分けて整理する

※「なぜそう考えたのか」を書き残し、自分の判断も含めて今後の活動に活かせるようにします。

- 実習についてのレポートを別紙「フィールドワーク実習」の各用紙にまとめ、市町村事務局へコピーを提出してください。締切は市町村事務局の指示に従ってください。

V. 後期研修(グループワーク)

- 後期研修では、ご自身が作成したワークシートを必ずご持参ください。
- ワークシートを手元に置いて、フィールドワーク実習で得た知見をもとに、他市町村の受講生とグループワーク(互いの知見の情報交換)を行います。
- グループワークでは、司会、記録などの役割を決め、話し合った内容を最後に発表していただきます。

